

松原地区

令和5年度

推進交付金：550,000円

**取組み1 防災活動支援事業**

松原地区町会連合会、地区公民館、地区防災防犯部会 共催

(1) 目的

地区住民が災害、防災、減災について共に学ぶことによって、実際の災害時に役立つ知識を身に付け、また地域全体で防災に取り組む機運の醸成につなげます。

(2) 取組み

気象予報士から地震のメカニズムや非常時の備えについて学ぶとともに、実際に石川県で災害の支援活動を行ってきた松本市危機管理課職員から現場の様子を伺うことで、災害時にどう対応すべきか学びました。



### (3) 今後の展開

新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したことで、ここ4年間実施できなかった大規模な防災訓練の実施に取り組んで参ります。

## 取組み2 高齢者サロン支援事業

松原地区町会連合会 主催

### (1) 目的

コロナ禍で地区住民同士の関係が希薄になってしまった中、高齢者相互のコミュニケーションを図る必要があるため、会話を楽しんでいただくきっかけを設け、絆づくりを進めます。

### (2) 取組み

町内公民館や地区内でお借りできる建物を活用して、高齢者を対象に百歳体操を行い、その後井戸端会議の場を設けました。



### (3) 今後の展開

日頃から閉じこもりがちな高齢者を対象に社会参加促進を促す機会として継続して企画し、地区全体で高齢者を見守っていく気運の醸成につなげます。

また、この取り組みを地区全体へ広げるため、新たな実施場所も探して、参加者を増やしていく必要があります。

## 取組み3 生涯学習支援事業

松原地区町会連合会、松原地区公民館 共催

### (1) 目的

地区住民が歴史学習等の視察研修に出掛けたり、公民館の講座で一緒に学習活動を行ったりすることで、閉じこもりを防止し、社会参加促進に寄与します。

### (2) 取組み

ア 第一回目は、城下町・商人町として発展し、伝統的な佇まいが大切に守られている飛騨高山を訪問し、同様に栄えた松本と比較することによって、学びを深めました。



イ 第二回目は、上田へ出掛け、城跡であるのに、なぜ人気があるのか、多くの歴史ファンから愛される理由をガイドさんの解説のもと街歩きを行い検証しました。





ウ 第三回目は、江戸時代後期から農閑期の副業に位置付けられ、芳川地区の伝統産業となった「野溝箒」の種まきから制作までを一貫して行いました。

松本が誇る物づくりの素晴らしさを見つめ直す良い機会となりました。



エ 第四回目は、寿・寿台・松原地区を中心に実証実験を行っている「オンデマンドバス」の乗車体験会を行いました。

乗りたい時に自宅近くから地区内の行きたい場所へ行ける利便性を体験しました。



オ 第五回目は、地区公民館でソムリエをお招きし、ワインの製造過程から料理との合わせ方について学ぶワイン講座を実施しました。



### (3) 今後の展開

次年度以降も、日頃から閉じこもりがちな地区住民を対象に社会参加促進を促すとともに一緒に楽しみながら学習を行うことで絆づくりを進めるため、様々な講座を企画します。

## 取組み4 地域包括ケアシステム推進事業

松原地区町会連合会、主催

### (1) 目的

町会連合会の理事を中心に、センター、公民館、福祉ひろば、地区担当職員とともに地区に必要な地域包括ケアシステムの推進を図ります。

### (2) 取組み

地域包括ケアシステムの概略の説明、絆づくりの場を作るためのアイデア出し、認知症講座、支え合いマップの見直し、オレンジカフェ設立の検討等を行い、生活支援、介護予防の向上に取り組みました。





### (3) 今後の展開

松原地区は、今後急激な高齢化を迎える予測です。いきいきと暮らせるよう地区に必要な地域包括ケアシステムの構築を目指し、需要の高いフレイル予防、認知症対策等の具体的な施策を推進してまいります。

## 取組み5 第2ふれあい健康教室支援事業

松原地区町会連合会、福祉ひろば 共催

### (1) 目的

体力が衰えつつある高齢者に楽しく体力作りをしていただきながら、相互の交流を図り、地域におけるフレイル予防に努めます。

### (2) 取組み

ふれあい健康教室、ウォーキング等の健康づくり事業ほどの体力は必要としないが、若干の運動程度ならできる（動きたい）高齢者を対象に軽い体力づくり等の講座を実施しました。





### (3) 今後の展開

今後も、体力が衰えつつある高齢者の集える貴重な場として、参加者の意向を踏えた取組みを実施します。

## 取組み6 子ども育成・子育て支援事業

松原地区町会連合会、地区公民館 共催

### (1) 目的

地区の小中学生を対象とした各種事業を実施し、子ども育成の支援を行うことにより、子育て環境の充実を図ります。

また、将来に向けた地域づくりの土壌整備、地区の活力向上を目指します。

### (2) 取組み

ア 小中学生を対象に食育講座を実施しました。公民館の敷地で育てた野菜を食材に使用して、将来の健康について学びを深めました。





イ 小中学生の長期休みを利用して、夏休みにはバスで上高地に向かい、自然の中で楽しくハイキングを行う自然体験会を実施しました。また、春休みには、飯田へ出掛け、天竜峡を歩き、動物園を見学しました。



ウ 小中学生の夏休み期間に合わせ、8月1日（火）から8月10日（木）までの休日を除く毎日、松原中央公園でラジオ体操を実施しました。



エ 春休みに卓球部の中学生が小学生に卓球の基礎を教える卓球教室を開催しました。





### (3) 今後の展開

今後も子どもを対象とした長期休み、又は年間を通じた事業を実施していきます。また、地区の大人たちと交流できる事業も実施します。

## 取組み7 モール活性化支援事業

松原地区町会連合会、モールぷろじえくと 共催

### (1) 目的

地区の象徴的な施設で、かつては人が集い、賑わいのあった松原ショッピングモールの活性化を図ります。

### (2) 取組み

地区のシンボルである「からくり時計台」の前でイルミネーションコンサートを開催しています。また、毎週土曜日に清掃活動を行って、松原ショッピングモールの美化に努めています。







### (3) 今後の展開

今後も地区住民が集い会える憩いの場として環境美化に配慮しつつ、「からくり時計台」を中心としたコンサート、フリーマーケット、文化祭、ワークショップ等地域振興につながるイベント開催を企画して参ります。